

東和作戦会議会報 No.18

2020年7月27日発行
一般社団法人東和作戦会議広報担当



会長 藤井輝雄さんの議事進行

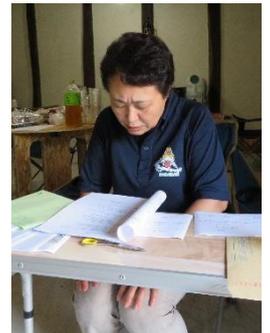
一般社団法人東和作戦会議の支援団体である「東和おもしろ作戦会議」の令和2年度総会が7月23日(木)午後3時から「やなのうえプロジェクト」で開かれました

総会には13名が出席。

令和元年度の事業報告及び決算の承認と、新年度事業及び予算について審議が行われ、いずれも満場で承認、可決されました。

新年度は、新型ウィルス感染症の感染拡大防止の観点から、「東和作戦会議」の事業が、調査事業などを中心に実施する方向であるため、東和作戦会議への繰り出し金を、基金からの繰り出しと合わせ50万円(前年度70万円)と決定しました。

「東和作戦会議」支援の他、独自の事業としては、昨年に引き続き東和来訪者への対応と街中活性化を図るための「東和おもしろ作戦研究所」開店と、活用に関する活動を行うこととなります。



議案説明
大石文子さん



会議終了後、東和作戦会議が進めている東和ファン倶楽部宅配のネーミングについての検討が行われ、投票で11票を獲得した「東和農旅セット」が有力となりましたが、さらに検討を重ねていくことになりました。

また、東和作戦会議と連携し事業実施することになった「幸せ創る女性農林漁業者育成事業」の消費者意向調査についての説明が行われました。



さらに、東和作戦会議の新事業として取り組むことになった東和をイメージした「東和オリジナル缶バッチ」の作成と販売について説明が行われ、田瀬ダム、マンホールあやめちゃん、丹内山神社、カブト虫童夢、萬鉄五郎、泣き相撲などを缶バッチや、ガチャポンにデザインしたものを、道の駅とうわの販売所に設置することで準備を進めている旨の報告が行われました。

東和おもしろ学の今年度計画の説明に加え、東和おもしろ作戦研究所活用事業として、研究所で不定期に行う小規模イベントについての提案があり、お土産品開発にも関わりのある菅沼緑さんの「小さな木の作品展」の実現について検討に入ることになりました。

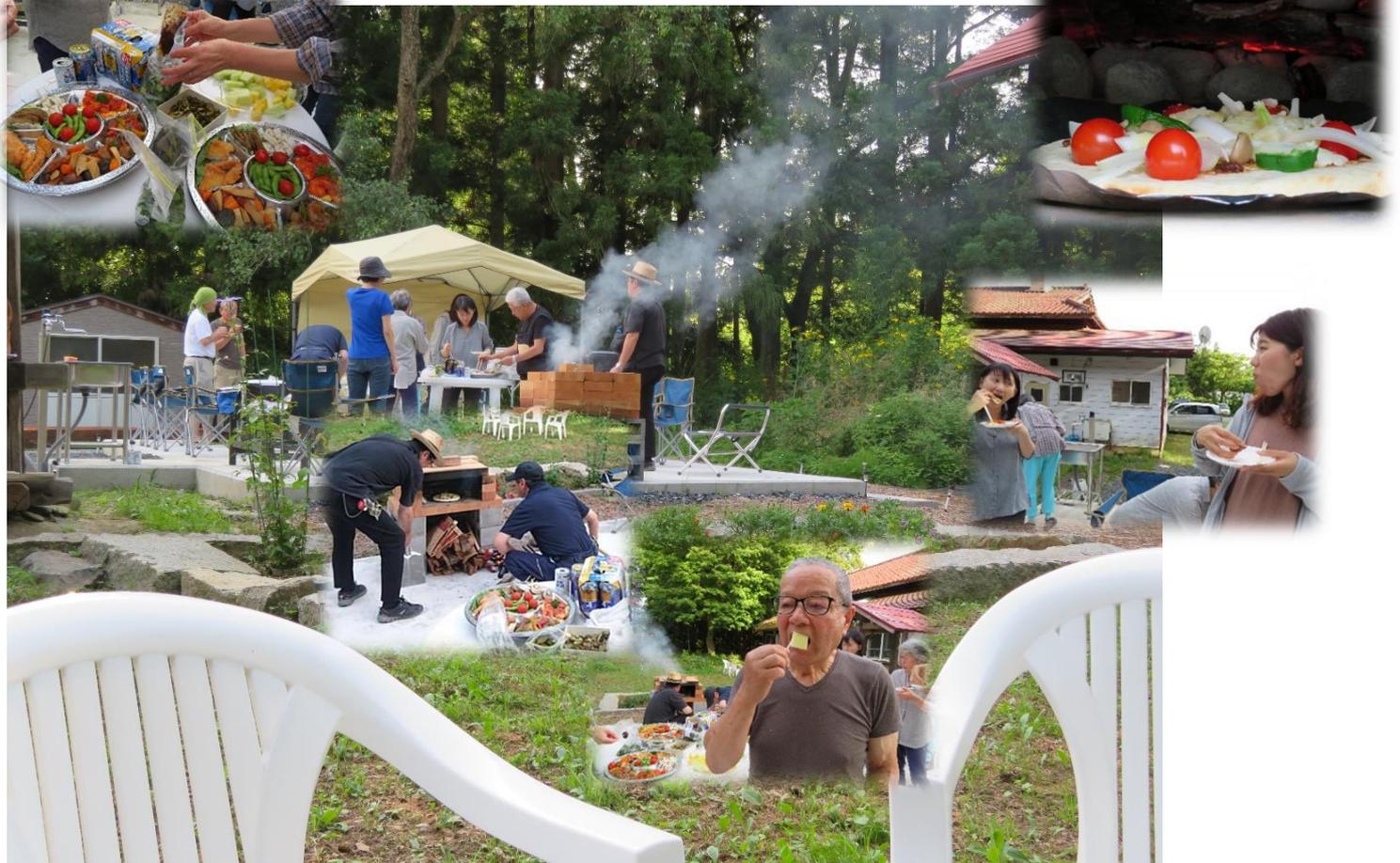


次ページに続く



感染対策とソーシャルディスタンスをはかったうえで ひさびさの交流会を開催！！

米粉生地に自家製味噌、地元野菜をふんだんに使い「やなのうえプロジェクト」特製ピザ窯で焼いた「とうわ濃厚ピザ」を堪能しました。



幸せ創る事業代表の小田武子さんからトクマルなきゅうりのお漬物や杏仁豆腐。美香子さんから「なかなか手に入らないスパークリング米麴甘酒」、和さんの手造り味噌、そのほか役重さんから鰻のかば焼き、ほかにも漬物や果物など差し入れをたくさんありがとうございました。家主の典人さん暑い中準備作業ありがとうございました。藤井会長は最後まで焼き師お疲れさまでした。飛世さん、緑さん、そして今橋さん遠くからありがとう。話が盛り上がり最高の一と時でした。

